



SOMPO ホールディングス

安心・安全・健康のテーマパーク

2020年度第1四半期決算説明資料

2020年8月7日

SOMPOホールディングス株式会社



目次

業績ハイライト(2020年度第1四半期)	2
1. 連結業績	
2020年度第1四半期決算概況(連結)	4
決算のポイント① 保険引受利益(損保ジャパン)	5
決算のポイント② 資産運用粗利益(損保ジャパン)	6
決算のポイント③ 連結経常利益	7
決算のポイント④ 連結純利益	8
(参考)2020年度通期業績予想(連結)	9
(参考)通期業績予想のポイント	10
(参考)新型コロナウイルス感染拡大などの影響	11
(参考)通期業績予想(連結経常利益)のブレイクダウン	12
(参考)過去の業績進捗状況	13
(参考)経営数値目標等	14
2. 国内損保事業	
2020年度第1四半期決算概況(損保ジャパン)	16
正味収入保険料	17
正味損害率(アード・インカード)	18
正味事業費率	19
コンバインド・レシオ	20
資産運用損益	21
(参考)資産運用粗利益の内訳	22
(参考)2020年度通期業績予想(損保ジャパン)	23
(参考)自動車保険関連の指標	24
(参考)国内自然災害	25
(参考)責任準備金・支払備金	26

3. 海外保険事業	
業績概況(海外保険事業)	28
(参考)グループ会社別業績	29
(参考)SI業績概況①	30
(参考)SI業績概況②	31
4. 国内生保事業	
業績概況(ひまわり生命)	33
当期純利益(ひまわり生命)	34
修正利益・修正純資産(ひまわり生命)	35
5. 介護・ヘルスケア事業等	
業績概況(介護・ヘルスケア事業等)	37
SOMPOケアの主要指標	38
6. ERM・資産運用	
財務健全性: ESR(99.5%VaR)	40
(参考)実質自己資本・リスク量のブレイクダウン	41
資産ポートフォリオ(グループベース)	42
資産ポートフォリオ(損保ジャパン)	43
資産ポートフォリオ(SI)	44
資産ポートフォリオ(ひまわり生命)	45

為替レート(米ドル/円)

2020年度 第1四半期実績	107.74円(対前年同期比: △0.0%)	2020年6月末
	— 海外※2 108.83円(対前年同期比: △1.9%)	2020年3月末
2020年度 通期業績予想	108.83円	2020年3月末

※1 SIはSompoインターナショナルの企業部門を指す(以下同様)

※2 海外保険事業

業績ハイライト(2020年度第1四半期)

- ◆ 損保ジャパンの損害率改善を主因に、連結経常利益・連結純利益ともに大幅増益
- ◆ 新型コロナウイルス感染拡大による連結純利益へのマイナス影響額は△50億円程度と、業績予想に織り込んだ影響額(△140億円程度)の範囲内で進捗

損保ジャパン

- 新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛を背景とした自動車保険のE/I損害率低下を主因に、保険引受利益は+334億円の増益
 ※自動車保険のE/I損害率は前年同期比△15.1pt改善、事故受付件数も同△23.3%
- 政策株式削減額は297億円(ヘッジ込) ※年度の削減計画:1,000億円程度
 新型コロナ感染拡大に伴う利配収入減などもあり、資産運用粗利益は△50億円減益
- 経常利益・当期純利益ともに大幅増益となり、計画を上回る進捗

海外保険事業

- SIのスペシャルティ保険を中心とした増収に伴い、トップラインは順調に拡大
- 新型コロナ感染拡大に伴う利配収入減や円高影響などもあり、修正利益は△29億円減益

ひまわり生命

- 新型コロナ感染拡大を背景とした新規契約販売への影響はあるものの、当期純利益は増益

介護・ヘルスケア

- 新型コロナに伴う現場職員への特別手当支給などもあり、当期純利益は減益となるも順調

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

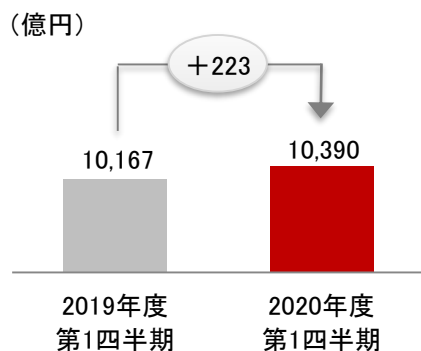
5. 介護・ヘルスケア事業等

6. ERM・資産運用

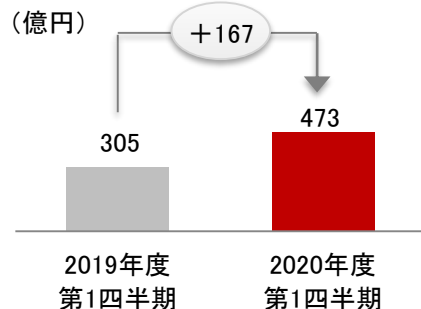
2020年度第1四半期決算概況(連結)

- ◆ SIの増収が寄与し、正味収入保険料は+256億円の増収
- ◆ 損保ジャパンの増益を主因に、連結経常利益・純利益ともに大幅増益

連結経常収益



連結純利益



(単位:億円)	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	増減	2020年度 (予想)
連結経常収益	10,167	10,390	+223 (+2.2%)	-
正味収入保険料	7,944	8,200	+256 (+3.2%)	28,600
生命保険料	829	808	△20 (△2.5%)	3,585
連結経常利益	428	682	+253	2,230
損保ジャパン	287	576	+288	2,100
海外グループ会社	298	△164	△463	601
ひまわり生命	69	73	+4	246
介護・ヘルスケア※1	18	24	+6	104
その他・連結調整等※2	△244	171	+416	△823
連結純利益※3	305	473	+167	1,500
損保ジャパン	212	415	+203	1,560
海外グループ会社	258	△155	△413	489
ひまわり生命	48	51	+3	170
介護・ヘルスケア	10	4	△6	64
その他・連結調整等	△224	156	+380	△783
(参考)修正連結利益	549	712	+162	1,870
国内損保事業	333	538	+204	965
海外保険事業	122	92	△29	510
国内生保事業	82	79	△3	325
介護・ヘルスケア事業等	10	2	△8	70

※1 介護・ヘルスケアは、SOMPOケア、SOMPOヘルスサポートの合計

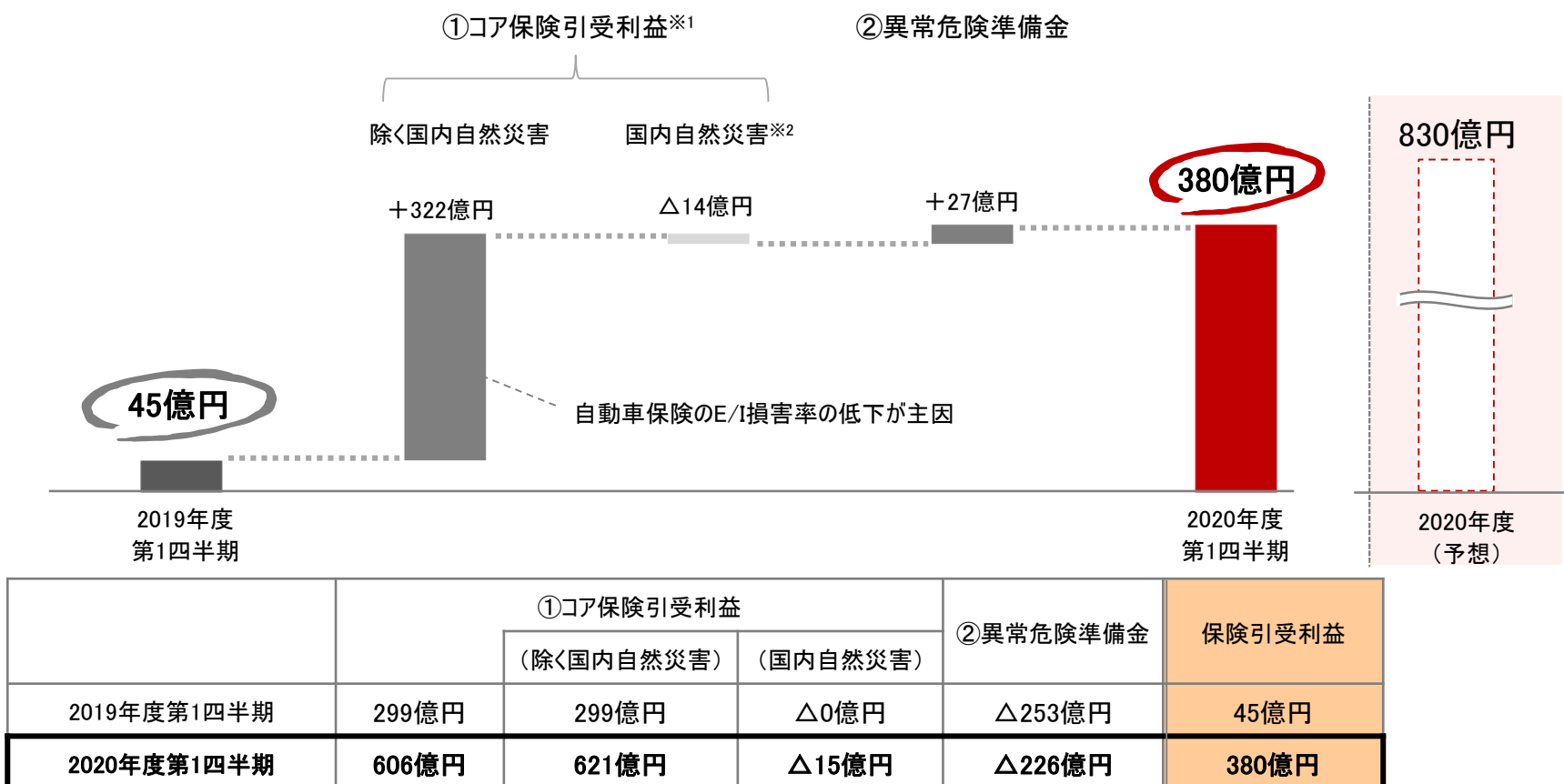
※2 SOMPOホールディングス設立時に企業結合の会計処理として「パーチェス法」を適用したことによる売却損益等の修正を含む

※3 連結純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す(以下同様)

決算のポイント① 保険引受利益(損保ジャパン)

◆ 自動車保険の損害率低下を主因に、保険引受利益は+334億円の増益

保険引受利益(損保ジャパン)の増減要因



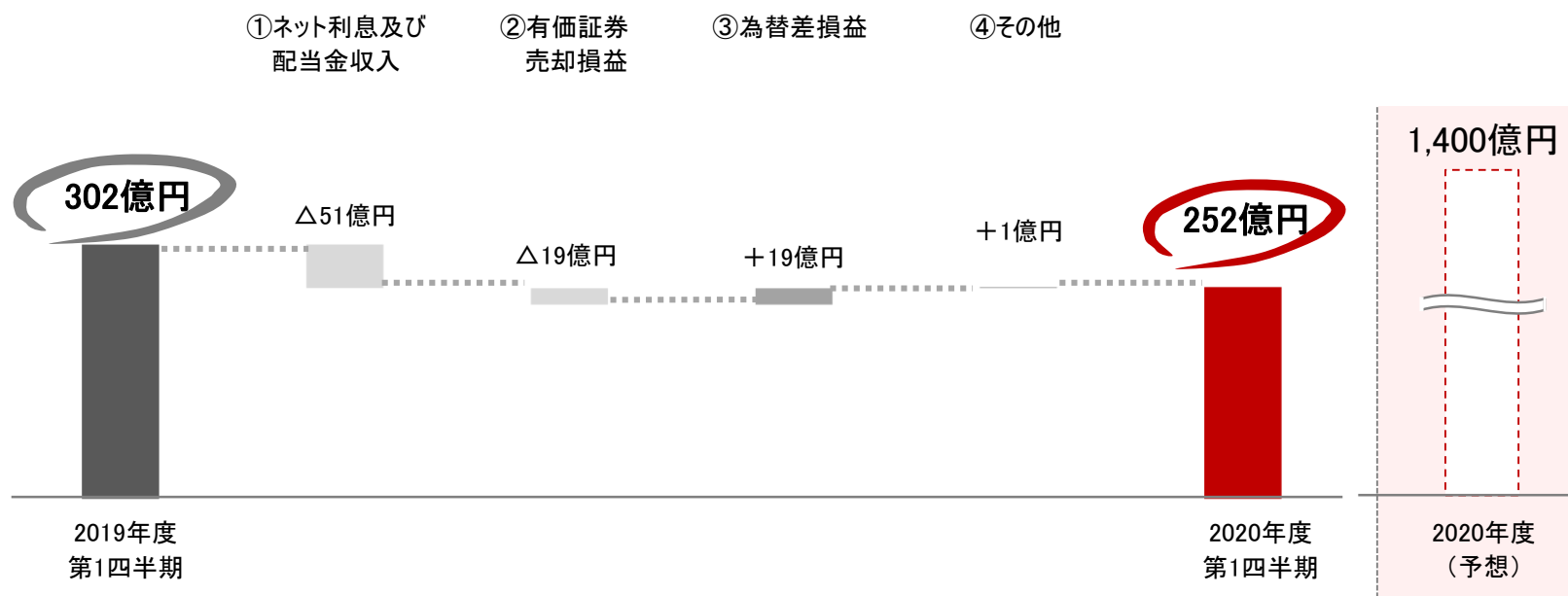
※1 コア保険引受利益は、保険引受利益から異常危険準備金に係る影響を除いたもの

※2 国内自然災害は、当年度発生 of 正味支払保険金を集計

決算のポイント② 資産運用粗利益(損保ジャパン)

◆ 新型コロナウイルス感染拡大を背景とした利配収入減の影響あるも、資産運用粗利益は252億円

資産運用粗利益(損保ジャパン)の増減要因

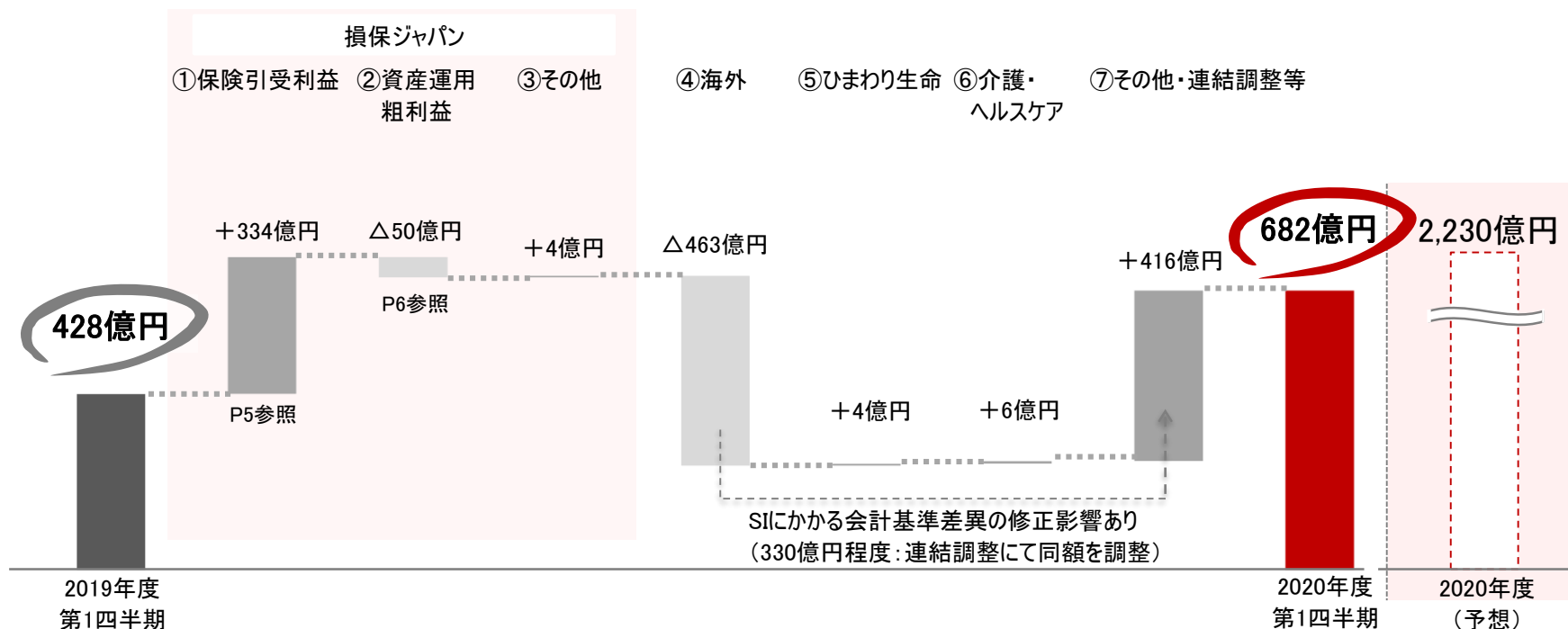


	① ネット利息及び配当金収入	② 有価証券売却損益	③ 為替差損益	④ その他	資産運用粗利益
2019年度第1四半期	248億円	95億円	△25億円	△16億円	302億円
2020年度第1四半期	197億円	75億円	△5億円	△14億円	252億円

決算のポイント③ 連結経常利益

◆ 損保ジャパンの増益を主因に、連結経常利益は+253億円の増益

連結経常利益の増減要因



	①保険引受利益	②資産運用粗利益	③その他	④海外グループ会社	⑤ひまわり生命	⑥介護・ヘルスケア	⑦その他・連結調整等	連結経常利益
2019年度第1四半期	45億円	302億円	△60億円	298億円	69億円	18億円	△244億円	428億円
2020年度第1四半期	380億円	252億円	△55億円	△164億円	73億円	24億円	171億円*	682億円

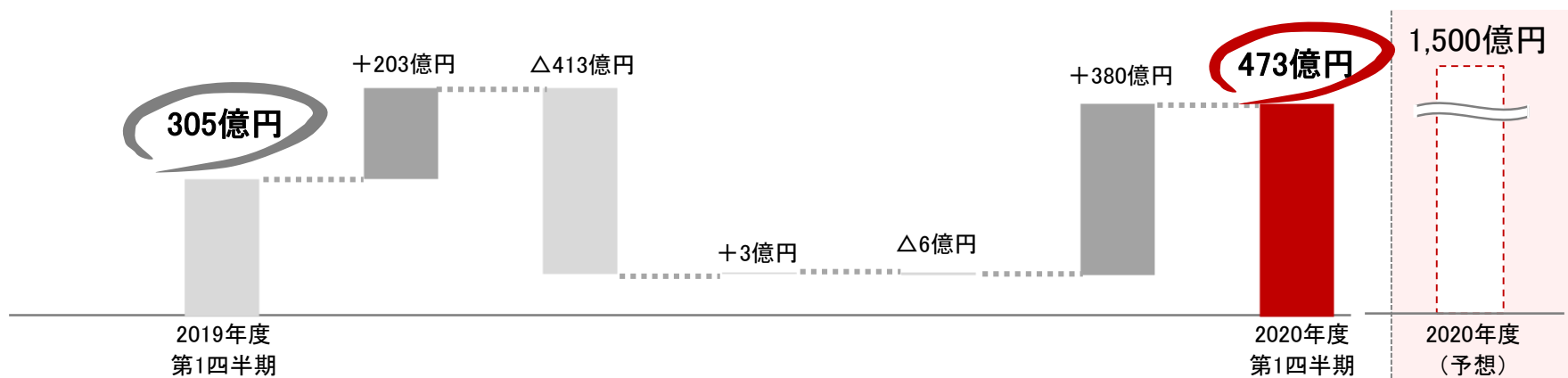
※ 2020年度第1四半期のSIに係るのれん・無形固定資産等償却額(税前)は63億円

決算のポイント④ 連結純利益

◆ 連結純利益は473億円(通期業績予想に対する進捗率:32%)

連結純利益の増減要因

①損保ジャパン ②海外グループ会社 ③ひまわり生命 ④介護・ヘルスケア ⑤その他・連結調整等



	①損保ジャパン	②海外グループ会社	③ひまわり生命	④介護・ヘルスケア	⑤その他・連結調整等	連結純利益
2019年度第1四半期	212億円	258億円	48億円	10億円	△224億円	305億円
2020年度第1四半期	415億円	△155億円	51億円	4億円	156億円	473億円

(参考)2020年度通期業績予想(連結)

(単位:億円)	2019年度 (実績)	2020年度 (予想)	対前年増減
正味収入保険料	28,254	28,600	+345(+1.2%)
生命保険料	3,560	3,585	+24(+0.7%)
連結経常利益	1,924	2,230	+305
損保ジャパン	1,823	2,100	+276
海外グループ会社	879	601	△277
ひまわり生命	255	246	△8
介護・ヘルスケア	101	104	+3
その他・連結調整等	△1,135	△823	+312
連結純利益	1,225	1,500	+274(+22.4%)
損保ジャパン	1,305	1,560	+254
海外グループ会社	753	489	△263
ひまわり生命	165	170	+4
介護・ヘルスケア	61	64	+2
その他・連結調整等	△1,061	△783	+278
(参考)修正連結利益	1,508	1,870	+361(+24.0%)
国内損保事業	608	965	+356
海外保険事業	501	510	+8
国内生保事業	320	325	+4
介護・ヘルスケア事業等	77	70	△7

(参考) 通期業績予想のポイント

- ◆ 新型コロナウイルス感染拡大による影響を一定織り込む一方で、各事業のベース利益の成長に加え、国内自然災害の平常化等により、連結経常利益は+305億円増益の2,230億円、連結純利益は+274億円増益の1,500億円を見込む
- ◆ 株主還元の原資となる修正連結利益は、+361億円増益の1,870億円を見込む

損保ジャパン

- 国内自然災害の平常化や一過性の特殊要因の剥落に加え、料率改定による増収などにより、保険引受利益は+398億円の増益を見込む
- 政策株式は1,000億円程度の削減を継続
- 資産運用粗利益は、有価証券評価損の減少の一方で、債券売却益の剥落などにより、△108億円の減益を見込む
- これらの結果、経常利益は+276億円増益の2,100億円、当期純利益は+254億円増益の1,560億円を見込む

海外保険事業

- 新型コロナウイルス感染拡大などを背景とした金融市場変動の影響を織り込む一方で、SIの元受事業を中心としたオーガニック成長により、修正利益は増益を見込む

ひまわり生命

- 保有契約の拡大などを背景に、ベース利益は増益を見込む

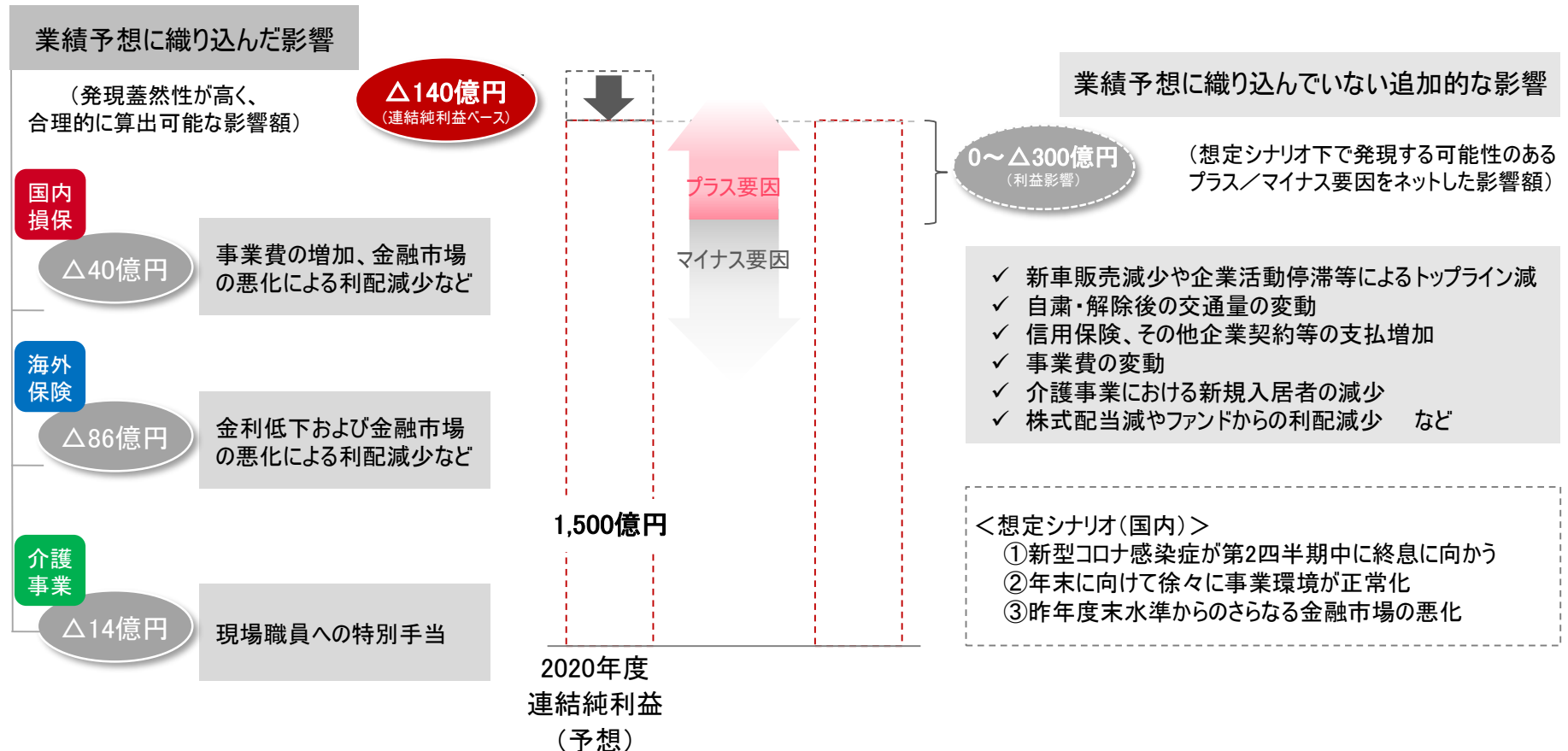
介護事業

- 引き続き入居率は改善する一方で、新型コロナウイルスに関連した対策費支出を見込む

(参考)新型コロナウイルス感染拡大などの影響

- ◆ 新型コロナウイルス感染拡大などの2020年度連結純利益への影響額は、現時点で△140億円程度を見込む
- ◆ なお、一定のシナリオ下で発現する可能性がある追加的な影響額は0～△300億円と試算

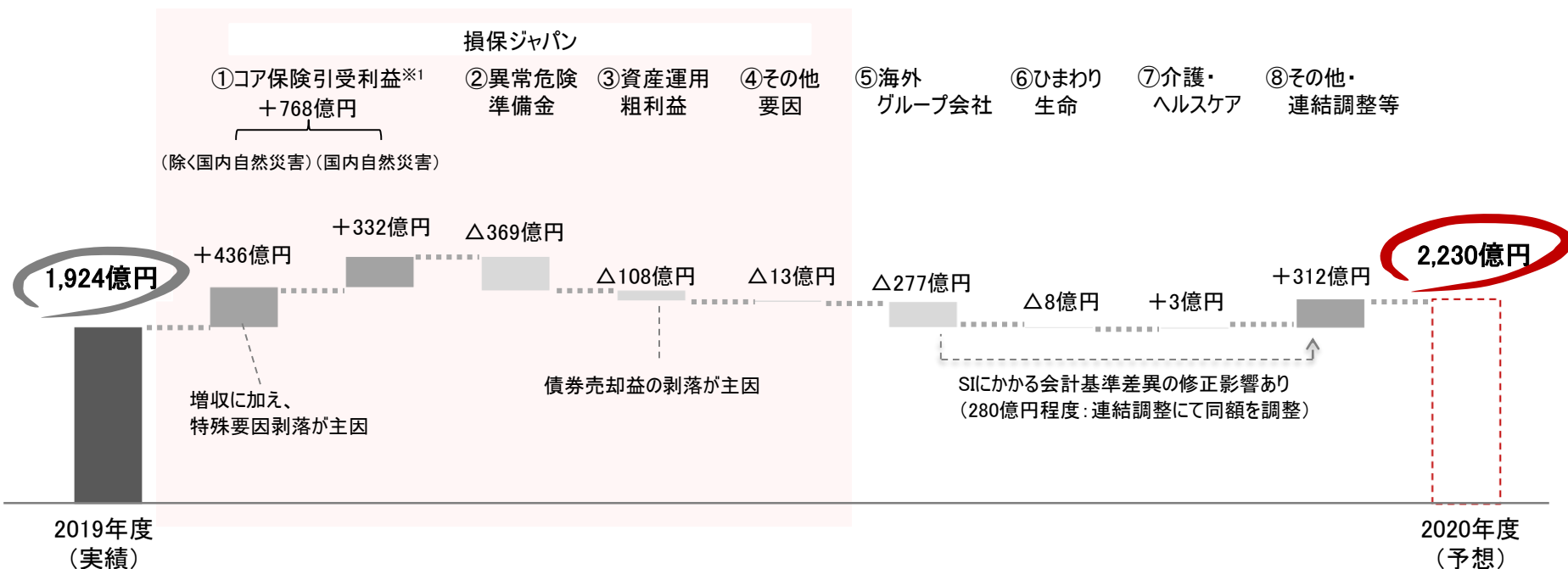
2020年度予想への影響



(参考) 通期業績予想(連結経常利益)のブレイクダウン

2020年5月20日
公表数値から修正なし

連結経常利益の主要構成要素



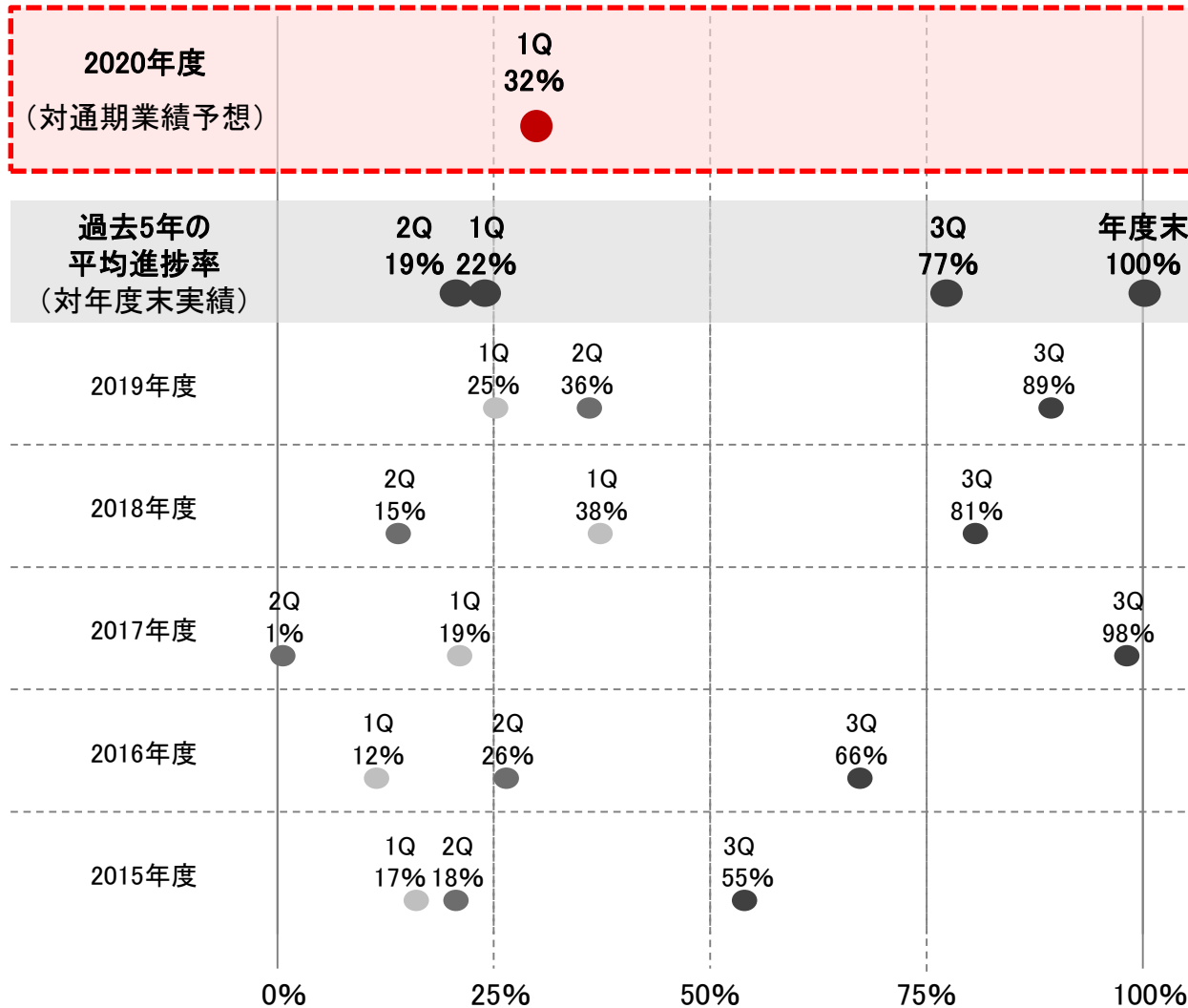
	①コア保険引受利益		②異常危険準備金	③資産運用粗利益	④その他要因	⑤海外グループ会社	⑥ひまわり生命	⑦介護・ヘルスケア	⑧その他・連結調整等	連結経常利益
	(除く国内自然災害)	(国内自然災害)								
2019年度実績	1,026億円	△932億円	336億円	1,509億円	△116億円	879億円	255億円	101億円	△1,135億円	1,924億円
2020年度予想	1,462億円	△600億円	△32億円	1,400億円	△130億円	601億円※2	246億円	104億円	△823億円※2	2,230億円

※1 コア保険引受利益は、保険引受利益から異常危険準備金に係る影響を除いたもの

※2 SI買収に伴うのれんは1,513百万ドル、無形固定資産を合わせた正味償却対象額は2,000百万ドル程度(買収時点)、のれんは10年、無形固定資産は適切な償却期間を設定、2020年度予想における正味償却対象額は242億円の見込み

(参考)過去の業績進捗状況

四半期の進捗率(連結純利益)



(参考) 経営数値目標等

計画数値

(単位: 億円)	2019年度	2020年度	
	(実績)	(第1四半期実績)	(予想)
国内損保事業	608	538	965
海外保険事業	501	92	510
国内生保事業	320	79	325
介護・ヘルスケア事業等	77	2	70
合計(修正連結利益)	1,508	712	1,870
修正連結ROE^{※2}	6.4%	—	8.1%
ROE(J-GAAPベース)	7.3%	—	9.4%

修正連結利益^{※1}の定義

国内損保事業

当期純利益
 + 異常危険準備金繰入額等(税引後)
 + 価格変動準備金繰入額(税引後)
 - 有価証券の売却損益・評価損(税引後)

海外保険事業

当期純利益(主な非連結子会社含む)
 なお、SIのみOperating Income^{※3}

国内生保事業

当期純利益
 + 危険準備金繰入額(税引後)
 + 価格変動準備金繰入額(税引後)
 + 責任準備金補正(税引後)
 + 新契約費繰延(税引後)
 - 新契約費償却(税引後)

介護・ヘルスケア事業等

当期純利益

※1 事業部門別修正利益は、一過性の損益またはグループ会社配当等の特殊要因を除く

※2 修正連結ROE=修正連結利益÷修正連結純資産(分母は、期首・期末の平均残高)

修正連結純資産=連結純資産(除く国内生保事業純資産)+国内損保事業異常危険準備金等(税引後)+国内損保事業価格変動準備金(税引後)+国内生保事業修正純資産
 国内生保事業修正純資産=国内生保事業純資産(J-GAAP)+危険準備金(税引後)+価格変動準備金(税引後)+責任準備金補正(税引後)+未償却新契約費(税引後)

※3 SIのOperating Income=当期純利益-為替損益-有価証券売却・評価損益-減損損失など

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

5. 介護・ヘルスケア事業等

6. ERM・資産運用

◆ 自動車保険の損害率低下を主因に保険引受利益が改善、当期純利益は+203億円の増益

(単位:億円)	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	増減	2020年度 (予想)
正味収入保険料	5,637	5,513	△123(△2.2%)	21,735
(除く自賠責・家計地震)	4,970	4,896	△73(△1.5%)	19,431
既経過保険料(除く自賠責・家計地震)	4,599	4,599	△0(△0.0%)	19,250
E/I損害率(除く自賠責家計地震)	58.9%	52.1%	△6.8pt	61.8%
正味損害率	57.1%	54.5%	△2.6pt	64.1%
(除く自賠責・家計地震)	54.3%	51.4%	△3.0pt	61.0%
正味事業費率	31.6%	32.9%	+1.3pt	32.8%
(除く自賠責・家計地震)	32.7%	33.8%	+1.1pt	33.5%
コンバインド・レシオ(W/P)(除く自賠責・家計地震)	87.0%	85.1%	△1.9pt	94.6%
(参考)コンバインド・レシオ(E/I) ^{※1} (除く自賠責・家計地震)	91.6%	85.9%	△5.8pt	95.3%
保険引受利益	45	380	+334	830
資産運用粗利益	302	252	△50	1,400
経常利益	287	576	+288	2,100
当期純利益	212	415	+203	1,560
(参考) 修正利益				
異常危険準備金繰入額等(税引後)	183	163	△19	+24
価格変動準備金繰入額(税引後)	7	7	△0	+28
有価証券売却損益・評価損(税引後)	△62	△44	+18	△436
特殊要因(税引後) ^{※2}	0	△7	△7	△190
修正利益	340	534	+194	986

※1 E/I損害率+正味事業費率(以下同様)

※2 株式先物関連損益等

◆ コロナ影響を主因に減収も、ベースの販売力は安定

種目別正味収入保険料

(単位: 億円)	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	増減		2020年度 (予想)
火災	625	604	△20	(△3.3%)	2,912
海上	117	107	△9	(△8.3%)	452
傷害	508	470	△37	(△7.4%)	1,685
自動車	2,767	2,766	△0	(△0.0%)	11,069
自賠責	665	615	△49	(△7.4%)	2,299
その他	953	947	△5	(△0.6%)	3,314
うち賠償責任	550	543	△7	(△1.3%)	1,677
合計	5,637	5,513	△123	(△2.2%)	21,735
合計(除く自賠責・家計地震)	4,970	4,896	△73	(△1.5%)	19,431

(参考) 自動車保険の台数・単価・保険料
対前年同期比(2020年4月~6月)

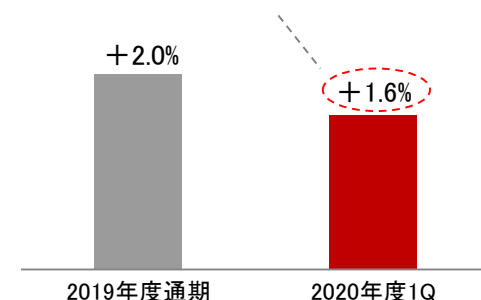
(営業成績保険料ベース)

	台数※	単価	保険料
ノンフリート	△1.7%	+1.6%	△0.1%
フリート	△4.2%	+2.5%	△1.7%
合計	△2.3%	+1.9%	△0.4%

※ 時間単位型自動車保険 乗るピタ！を除く

<ノンフリート保険料単価>

20年1月の料率改定により単価増トレンドは継続も
長期契約の影響で増率は低下



(主な増減要因)

火災: 料率適正化等により元受保険料は増収するも、再保険コスト増により減収

傷害: 外出自粛影響等により海外旅行保険を中心に減収

自動車: 新車販売不振などの影響を受けるもレート改定効果等により横ばい

その他: 大口契約の抜け等の一過性要因を主因に減収

◆ E/I損害率は、自動車保険の事故率の低下を主因に△6.8pt改善

種目別E/I損害率※1

(単位:億円)	2020年度第1四半期				2020年度 (予想)
	発生保険金※2		損害率		
		増減		増減	
火災(除く家計地震)	351	+35	52.8%	+5.5pt	65.4%
海上	62	+4	61.0%	+3.3pt	56.9%
傷害	205	△19	55.0%	△0.9pt	55.4%
自動車	1,298	△393	48.1%	△15.1pt	62.5%
その他	477	+57	63.3%	+7.2pt	60.0%
うち賠償責任	220	+17	59.2%	+5.6pt	58.7%
合計(除く自賠責・家計地震)	2,396	△315	52.1%	△6.8pt	61.8%

外出自粛等の影響による事故率低下が主因

大口事故による一過性要因
および簡便法影響

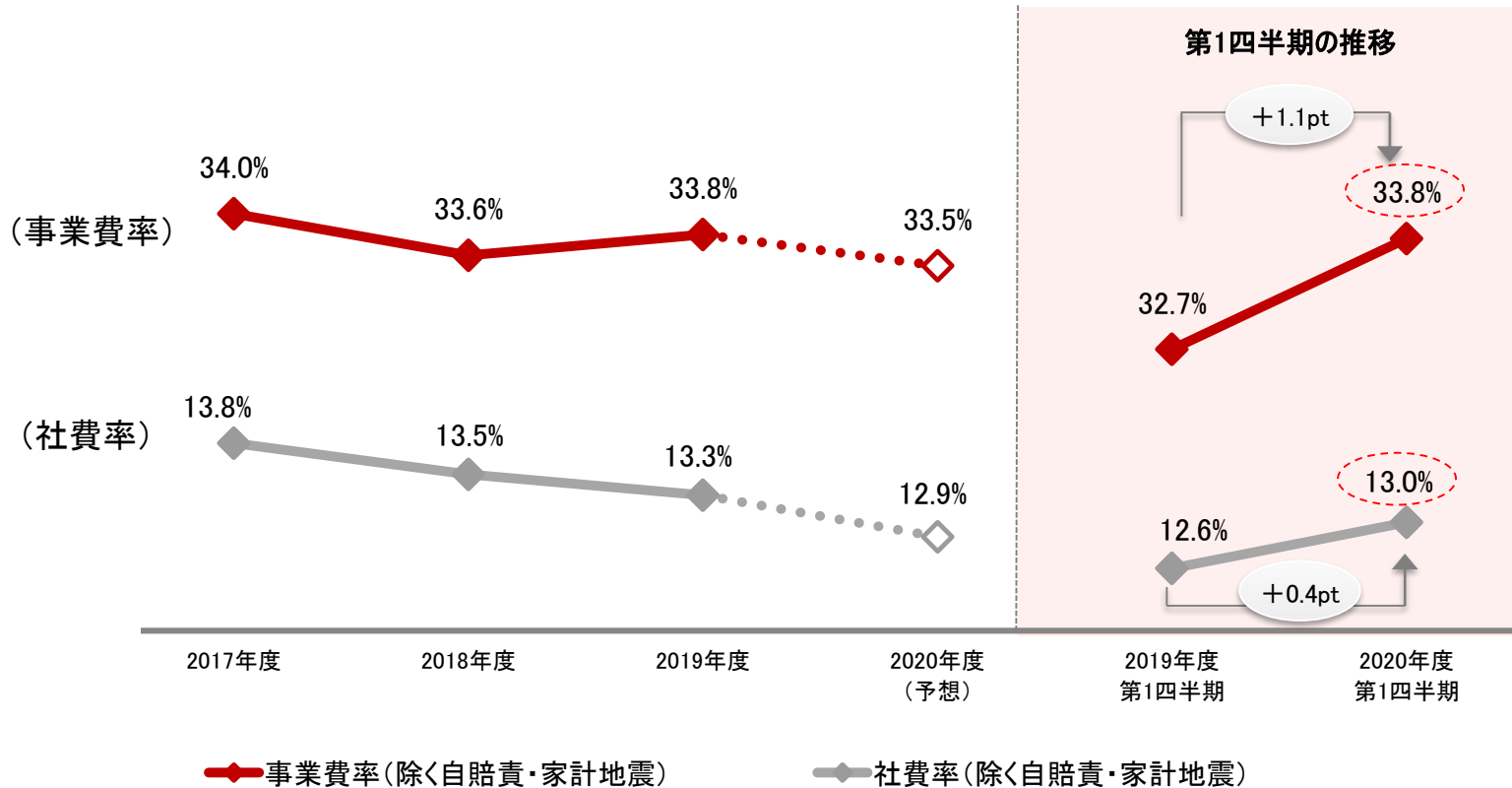
(参考)W/P損害率	2020年度第1四半期	
	損害率	増減
火災(除く家計地震)	76.8%	+5.6pt
海上	57.0%	+8.3pt
傷害	38.0%	△6.7pt
自動車	50.3%	△6.1pt
その他	44.3%	+1.2pt
合計(除く自賠責・家計地震)	51.4%	△3.0pt

※1 第1四半期決算では支払備金を簡便法で算出している

※2 損害調査費を含む

◆ 消費増税などの影響により、前年同期比で事業費率は増加したものの、通期計画に織り込み済み

事業費率・社費率※ (除く自賠責・家計地震)の推移

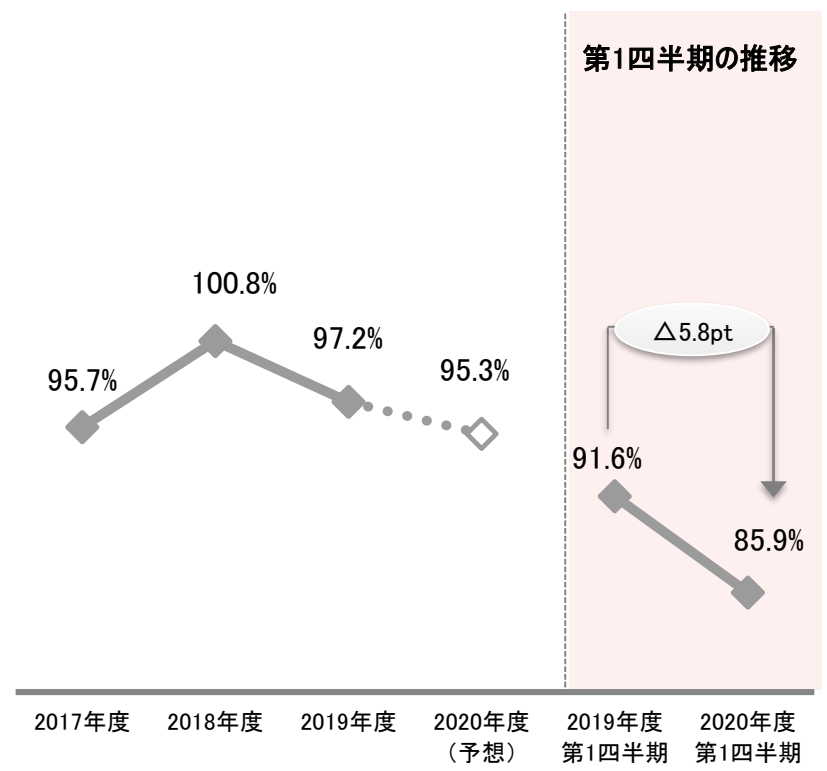
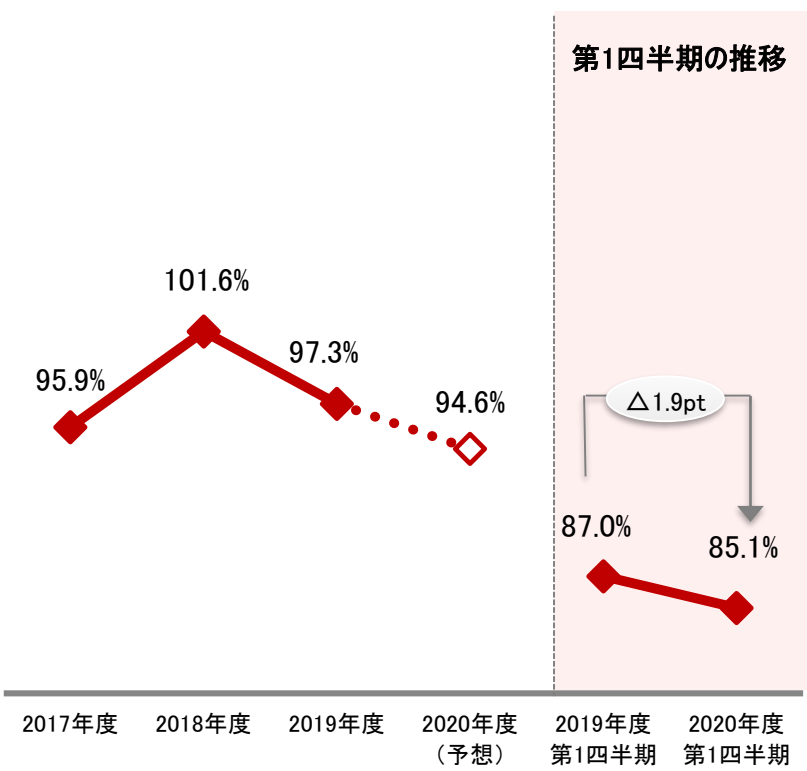


※ 保険引受に係る営業費および一般管理費の正味収入保険料に対する比率

◆ コンバインド・レシオは、前年同期比△1.9pt改善の85.1%

コンバインド・レシオ(W/P) (除く自賠責・家計地震)

(参考)E/コンバインド・レシオ(除く自賠責・家計地震)



◆ 政策株式は概ね計画通り削減

資産運用粗利益(損保ジャパン単体)

(単位:億円)		2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	増減	2020年度 (予想)
ネット利息及び配当金収入	①	248	197	△51	826
利息及び配当金収入※1		341	282	△58	1,168
(うち海外子会社配当金)		0	11	+11	217
有価証券売却損益※1	②	95	75	△19	635
(うち国内株式)		80	70	△10	610
有価証券評価損	③	△9	△11	△1	△30
(うち国内株式)		△7	△3	+3	△20
金融派生商品損益	④	△5	△3	+2	△69
その他損益	⑤	△26	△6	+20	38
資産運用粗利益	(①~⑤計)	302	252	△50	1,400

(参考)政策株式削減額

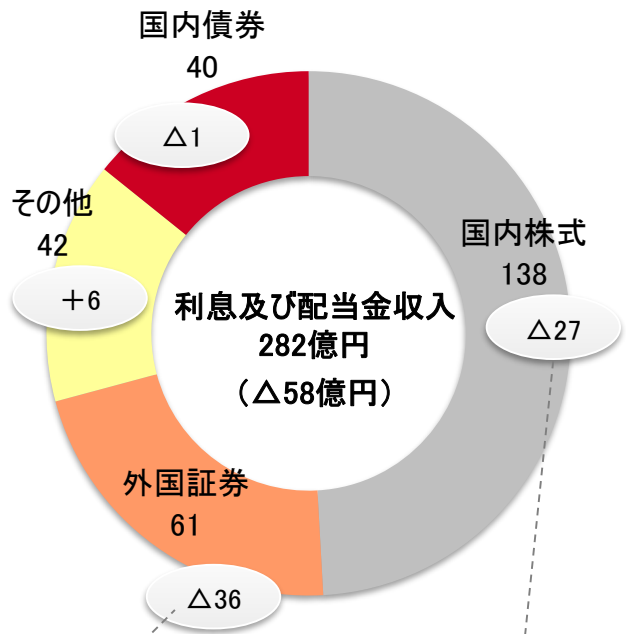
現物※2	107億円
先物※3	189億円
合計	297億円

※2 時価ベースのネット削減額
(売却時価-購入時価)
2020年度削減目標額は1,000億円前後
※3 日経平均先物の売建て

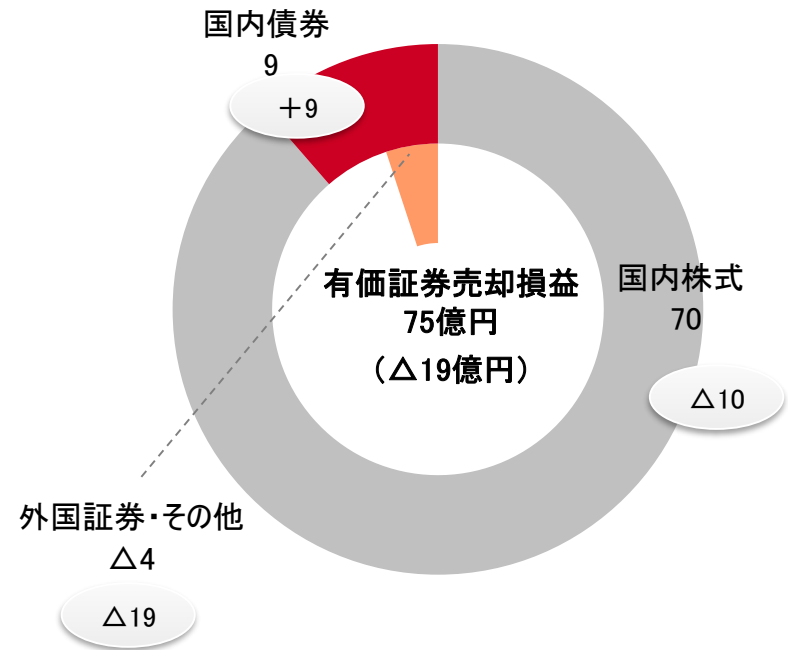
※1 内訳は次ページ参照

利息及び配当金収入・有価証券売却損益の内訳(2020年度第1四半期)

(億円)



前年度におけるファンド解約益計上の剥落



政策株式削減および市況悪化を背景とした利配減

○ : 2019年度第1四半期対比の増減額

国内損保

海外

国内生保

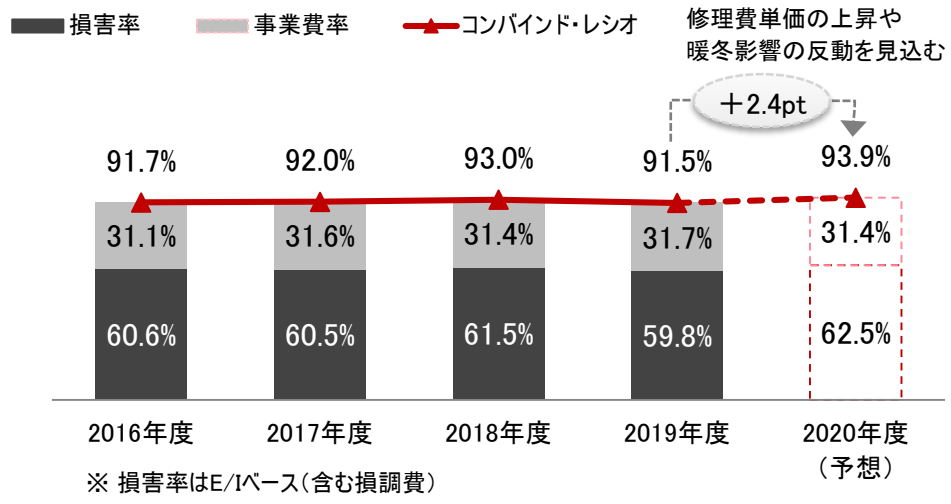
介護・
ヘルスケア等

2020年度通期業績予想(損保ジャパン)

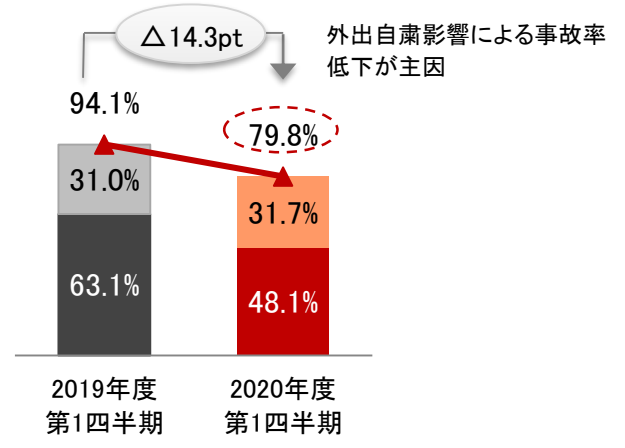
(単位:億円)	2019年度 (実績)	2020年度 (予想)	増減
正味収入保険料	21,847	21,735	△112(△0.5%)
(除く自賠責・家計地震)	19,038	19,431	+393(+2.1%)
既経過保険料(除く自賠責・家計地震)	18,739	19,250	+511(+2.7%)
E/I損害率(除く自賠責・家計地震)	63.3%	61.8%	△1.5pt
正味損害率	64.9%	64.1%	△0.8pt
(除く自賠責・家計地震)	63.5%	61.0%	△2.4pt
正味事業費率	32.4%	32.8%	+0.4pt
(除く自賠責・家計地震)	33.8%	33.5%	△0.3pt
コンバインド・レシオ(W/P)(除く自賠責・家計地震)	97.3%	94.6%	△2.8pt
(参考)コンバインド・レシオ(E/I)(除く自賠責・家計地震)	97.2%	95.3%	△1.8pt
保険引受利益	431	830	+398(+92.5%)
資産運用粗利益	1,509	1,400	△108(△7.2%)
経常利益	1,823	2,100	+276(+15.1%)
当期純利益	1,305	1,560	+254(+19.5%)
(参考) 修正利益			
異常危険準備金繰入額等(税引後)	△239	+24	+264
価格変動準備金繰入額(税引後)	+28	+28	+0
有価証券売却損益・評価損(税引後)	△469	△436	+32
特殊要因(税引後)※	+15	△190	△206
修正利益	641	986	+344(+53.8%)

※ グループ会社配当など

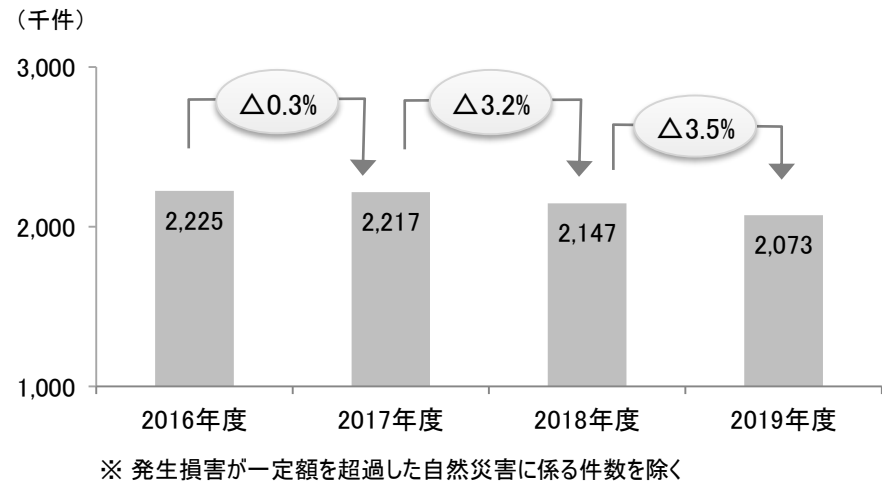
コンバインド・レシオの推移



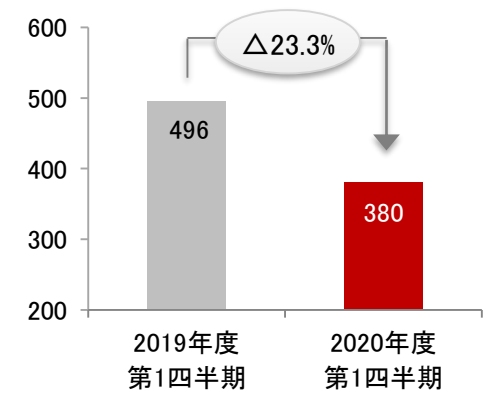
第1四半期の推移



事故受付件数の推移



第1四半期の推移



(参考)国内自然災害

国内自然災害(当年度発生)に係る正味支払保険金(除く自賠責・家計地震)※

(単位:億円)	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	増減
火災	0	14	+14
海上	-	-	-
傷害	-	0	+0
自動車	0	0	+0
その他	0	0	+0
合計	0	15	+14

※ 通期業績予想における国内自然災害正味発生損害額(見込)は600億円
第1四半期決算では支払備金を簡便法で算出、国内自然災害に係る発生損害額を集計していない

責任準備金・支払備金(2020年度第1四半期)

(単位:億円)	普通責任準備金※1		異常危険準備金		支払備金	
	残高	積増額	残高	積増額	残高	積増額
火災※2	7,539	△62	1,156	+87	973	△112
海上	192	△22	444	+3	226	+1
傷害	1,370	+95	730	+15	566	+27
自動車	3,259	+65	446	+89	3,689	△92
自賠責※2	4,625	△4	-	-	688	-
その他	3,632	+165	2,026	+30	2,328	+57
合計	20,619	+236	4,805	+226	8,472	△118
合計(除く自賠責・家計地震)	15,936	+239	4,805	+226	7,784	△118
	残高	積増額				積増額
長期性資産※3	12,119	△90			外貨建支払備金の為替影響	+7

※1 積立保険以外に係る払戻積立金を含む

※2 地震保険および自賠責保険に係る責任準備金は普通責任準備金に含む

※3 払戻積立金と契約者配当金として積み立てられている積立保険の収入積立保険料とその運用益の累積残

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

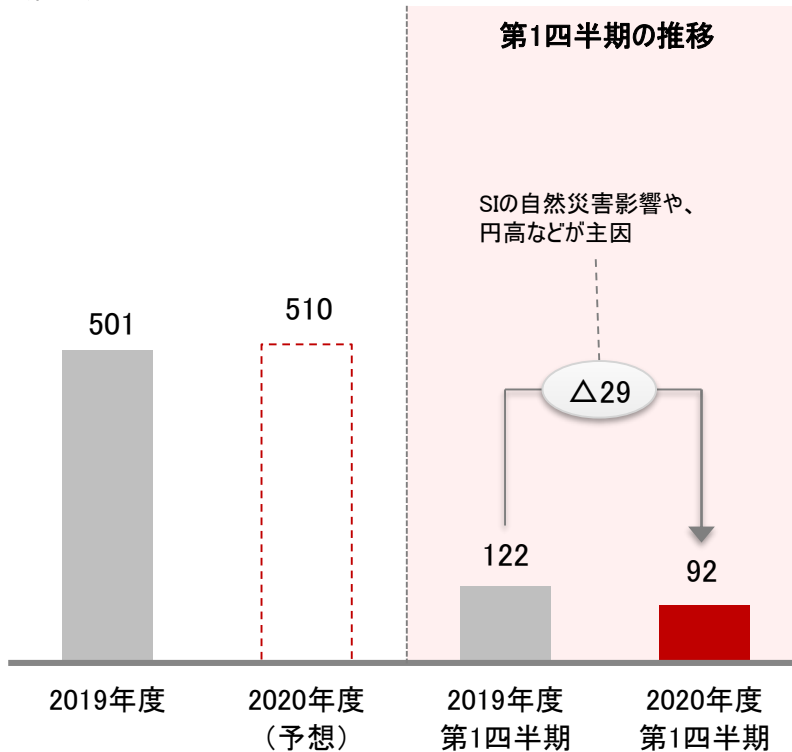
5. 介護・ヘルスケア事業等

6. ERM・資産運用

◆ SIの資産運用利益減少や円高を主因に、2020年度第1四半期の修正利益は△29億円減益の92億円

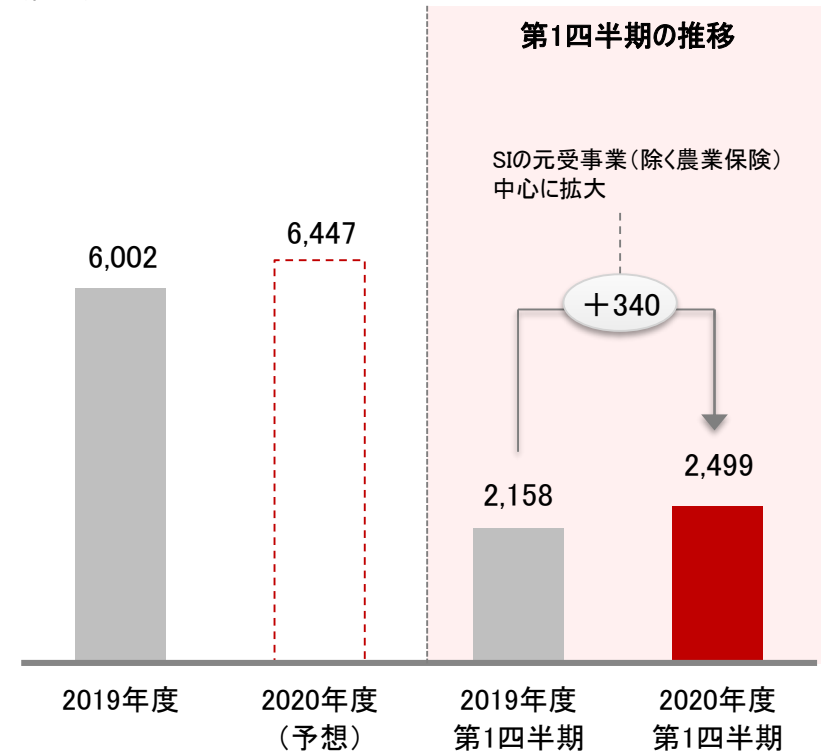
修正利益※

(億円)



(参考)収入保険料※

(億円)



※ 収入保険料は、持分割合を反映した数値を記載しており、連結財務諸表とは基準が異なる。修正利益は、持分割合の反映などの調整を行っている

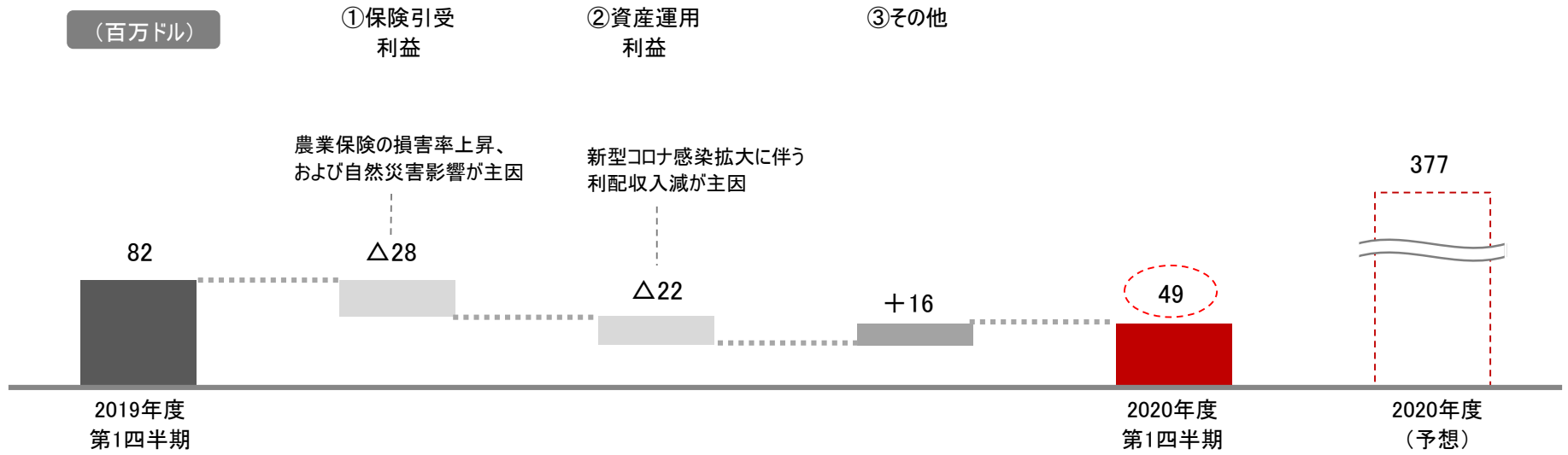
(参考)グループ会社別業績

(単位: 億円)		収入保険料			修正利益			ポイント	(参考) 為替レート
		2020年度第1四半期		2020年度	2020年度第1四半期		2020年度		2020年3月※2 (対前年為替影響)
		実績	増減	予想	実績	増減	予想		
欧米	SI	2,164	+384	4,748	53	△38	410	※P30、P31ご参照	108.83 円/米ドル (△1.9%)
アジア・中東	Sompoシゴルタ (トルコ)	87	+1	442	21	+0	46	トルコリラ安のマイナス影響を受けたものの、 損害率改善がプラス寄与	16.53 円/リラ (△17.0%)
	Sompo シンガポール	19	△2	75	2	+2	6	—	76.37 円/SGドル (△6.7%)
	ベルジャヤソンプ (マレーシア)	32	△7	148	5	+1	12	損害率が良好に推移	25.16 円/リンギット (△7.5%)
	Sompo インドネシア	7	△2	80	△0	△1	5	自動車保険の販売が不調	0.0067 円/ルピア (△14.1%)
	Sompo中国 NK中国	13	+0	75	2	△0	6	—	15.31 円/人民元 (△7.0%)
	Sompo香港	8	△1	35	0	+0	3	—	14.04 円/香港ドル (△0.7%)
	ユニバーサルソンプ (インド)	14	+1	90	2	+1	3	損害率が良好に推移	1.44 円/ルピー (△8.3%)
	AYA SOMPO (ミャンマー)	0	+0	2	0	+0	0	—	0.0737 円/チャット (-)
南米	Sompoセグロス (ブラジル)	143	△32	702	△7	△6	15	火災保険などにおけるIBNR備金積み増しなどがマイナス寄与	20.95 円/リアル (△26.3%)
上記以外(非連結)※1		7	△0	44	1	+0	0	—	—
合計		2,499	+340	6,447	92	△29	510	—	—

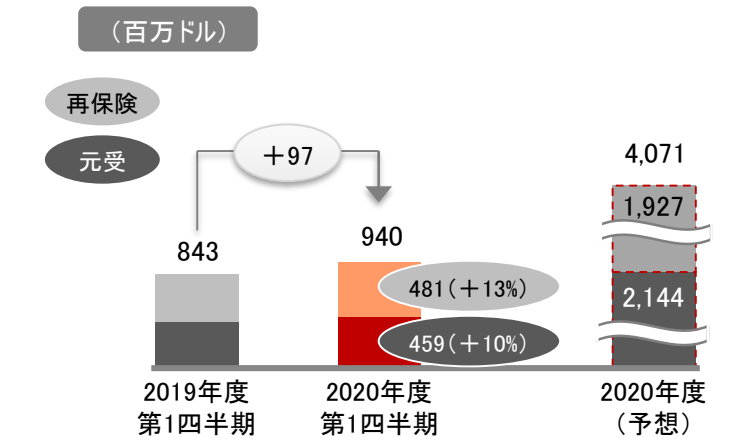
※1 Sompoタイランド、PGAソンプ(フィリピン)、ユニテッドインシュアランス(ベトナム)の合計

※2 ユニバーサルソンプの為替レートは2020年6月末時点、AYA SOMPOの為替レートは2019年12月末時点、通期業績予想における前提為替レートは2020年3月末時点を使用

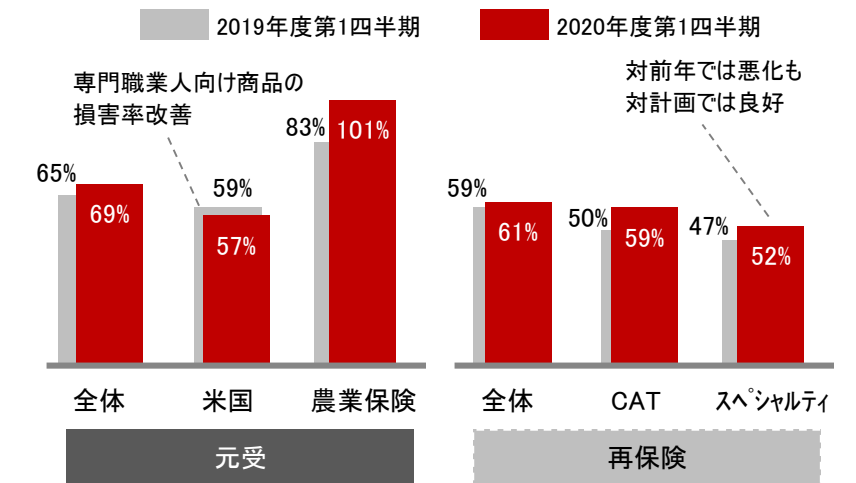
修正利益の増減要因



既経過保険料の推移



主要セグメント別損害率



(参考)SI業績概況②

	2019年度	2020年度第1四半期	2020年度			
	(実績)	(実績)	(予想)			
(百万ドル)			対前年増減	対前年増減		
グロス保険料	6,787	3,062	+495	7,111	+323	→ 順調なレートアップが主因
正味保険料	3,921	1,989	+385	4,363	+442	
既経過保険料	3,603	940	+97	4,071	+467	
発生保険金	2,372	609	+87	2,550	+178	
事業費	1,095	288	+9	1,234	+138	
損害率※1	65.8%	64.8%	+2.9pt	62.6%	△3.2pt	→ 農業保険の損害率上昇、および自然災害影響が主因
事業费率※1	30.4%	30.7%	△2.4pt	30.3%	△0.1pt	→ 手数料率・社费率ともに改善
コンバインド・レシオ※1	96.2%	95.4%	+0.5pt	93.0%	△3.3pt	
保険引受利益	143	10	△28	295	+152	
資産運用利益	301	63	△22	230	△70	
その他損益	177	△232	△346	△71	△249	→ 有価証券未実現損の影響が主因
当期純利益	553	△146	△353	377	△176	
(参考) (+) 為替損益	+6	+15	+23	-	△6	
(参考) (+) 有価証券売却・減損損失等※2	△274	+198	+329	-	+274	
(参考) (+) 税効果	+35	△18	△33	-	△35	
修正利益	320	49	△33	377	+57	

※1 損害率、事業费率、コンバインド・レシオ算出における分母は既経過保険料

※2 未実現損益を含む

(参考) 農業保険既経過保険料の認識タイミング(季節性イメージ)

1Q:10~15% 2Q:25~30% 3Q:30~35% 4Q:25~30%

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

5. 介護・ヘルスケア事業等

6. ERM・資産運用

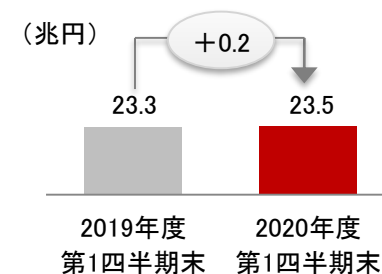
- ◆ 新型コロナを背景として新契約年換算保険料は減少したものの、当期純利益は+3億円の増益
- ◆ なお、7月単月の新契約年換算保険料は前年同水準に回復

主要業績

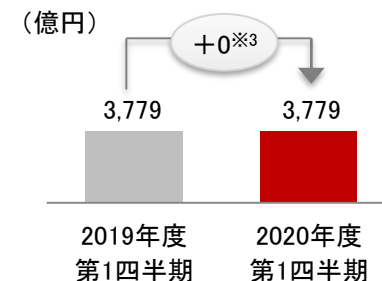
(単位:億円)	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	増減		2020年度 (予想)
新契約年換算保険料	55	42	△12	(△23.3%)	310
保険料等収入※1	1,057	1,046	△11	(△1.1%)	4,536
保険金等支払	181	186	+5	(+2.8%)	751
事業費	201	194	△6	(△3.5%)	934
資産運用損益	109	121	+11	(+10.7%)	476
(うち一般勘定)	110	109	△0	(△0.3%)	470
基礎利益	82	88	+6	(+7.9%)	269
経常利益※1	78	82	+3	(+4.5%)	275
当期純利益	48	51	+3	(+7.3%)	170
修正利益	82	79	△3	(△4.3%)	325

※1 法令に則った生命保険会社の様式に基づく数値(連結様式とは異なる)

(参考)保有契約高※2



(参考)保有契約年換算保険料※2

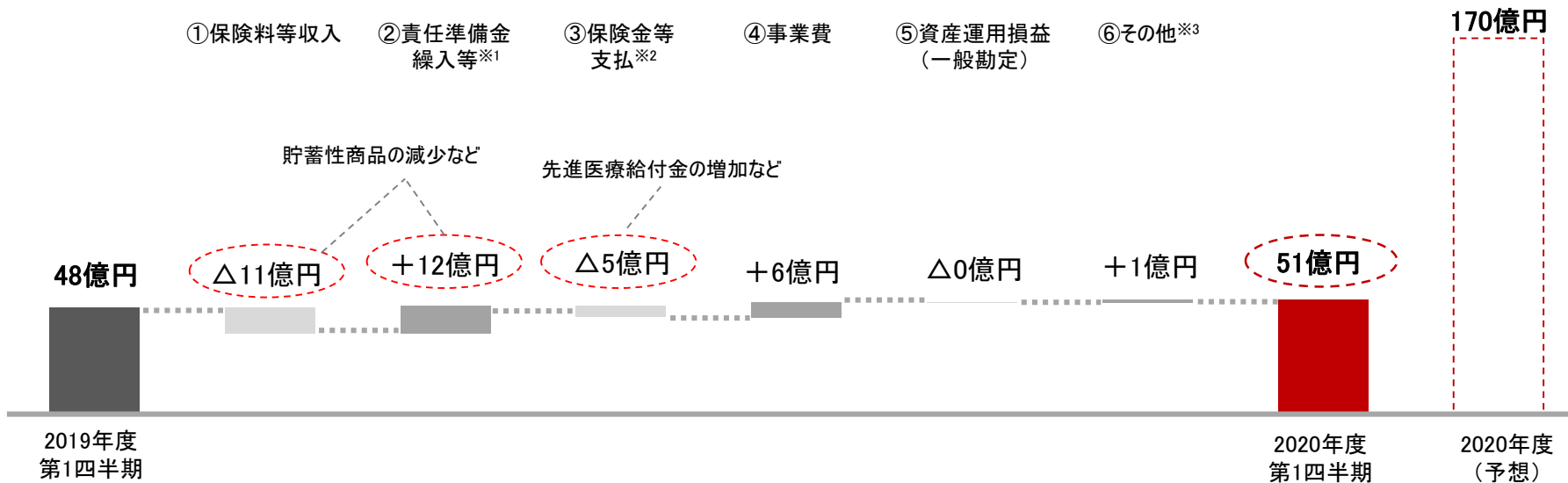


※2 個人保険と個人年金保険の合計

※3 うち保障性商品+48億円

◆ 貯蓄性商品の減少を主因とした責準備金の減少などにより、当期純利益は順調に進捗

当期純利益の増減要因



	①保険料等収入	②責任準備金繰入等	③保険金等支払	④事業費	⑤資産運用損益(一般勘定)	⑥その他	当期純利益
2019年度第1四半期	1,057億円	△698億円	△181億円	△201億円	110億円	△38億円	48億円
2020年度第1四半期	1,046億円	△685億円	△186億円	△194億円	109億円	△37億円	51億円
2020年度(予想)	4,536億円	△3,023億円	△751億円	△934億円	470億円	△127億円	170億円

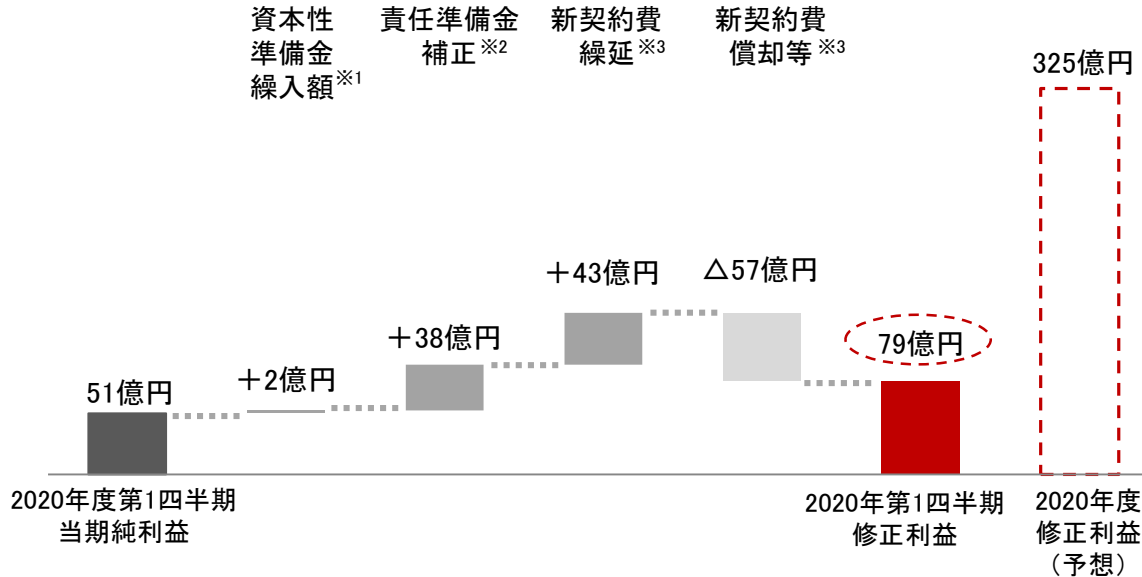
※1 解約返戻金、満期保険金、生存給付金、年金、その他返戻金支払影響および特別勘定の資産運用損益を含む

※2 保険金備金(除く満期保険金備金)、給付金備金(除く生存給付金備金)繰入取崩影響を含む

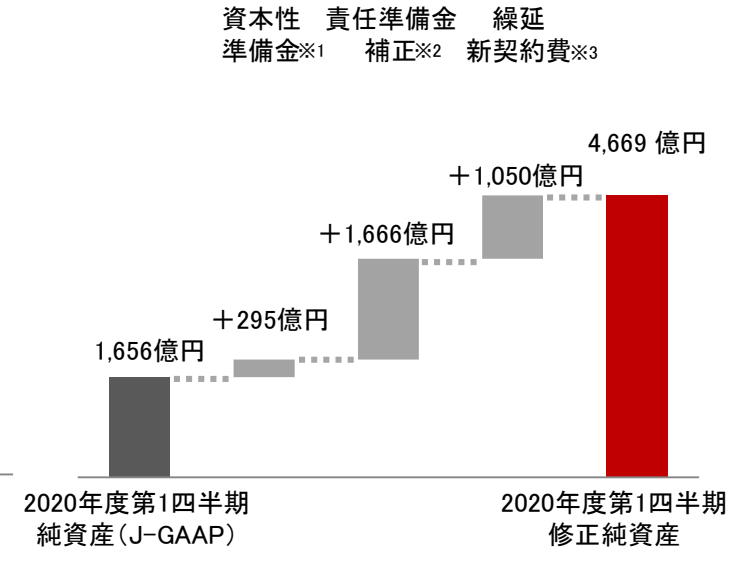
※3 その他経常損益、特別損益、契約者配当準備金繰入、法人税等の合計

◆ 修正利益は79億円と、通期業績予想：325億円に対する進捗率は24%

当期純利益から修正利益へのコンバージョン



(参考)修正純資産



※1 危険準備金、価格変動準備金(税引後)

※2 保守的に計算している責任準備金を保険料計算に用いる基礎率により再計算(税引後)

※3 契約初年度に発生する募集手数料等の新契約費を10年間で償却(税引後)

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

4. 国内生保事業

5. 介護・ヘルスケア事業等

6. ERM・資産運用

◆ 介護事業の修正利益は、新型コロナ対策の特別勤務手当支給などの影響により△5億円減益

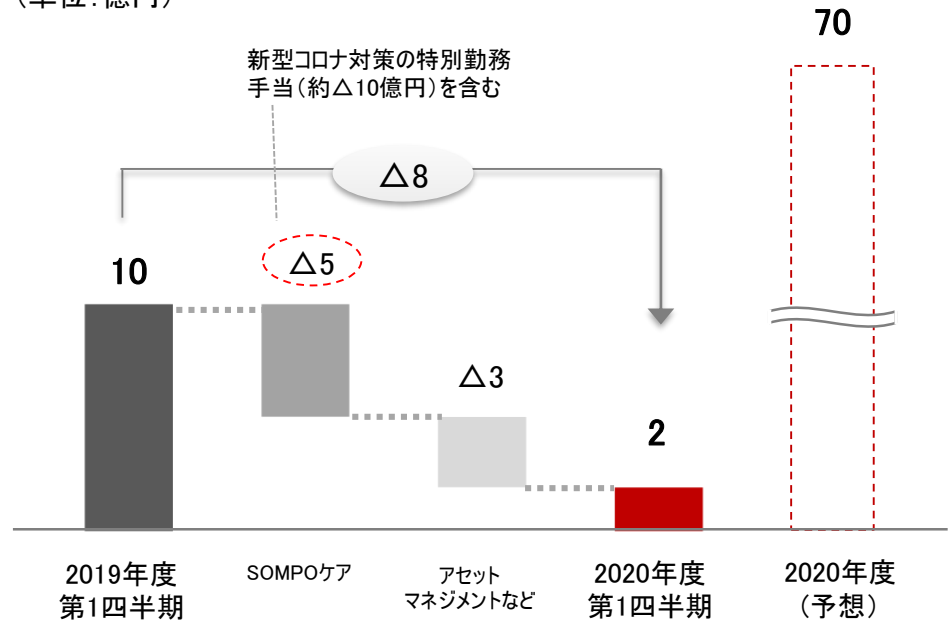
介護事業(SOMPOケア)の業績

(単位:億円)	2020年度 第1四半期		2020年度
	(実績)	(増減)	(予想)
売上高	324	+10	1,325
修正利益	5	△5	63
入居率※1			
(そんぼの家)	91.8%	△0.2pt	93.8%
(そんぼの家S)	93.1%	△0.4pt	95.1%
(ラヴィーレ)	88.4%	+0.1pt	90.2%

※1 入居率 = 入居者数 ÷ 施設定員数
 そんぼの家は旧SOMPOケアの介護付きホーム、
 そんぼの家Sは同社のサービス付き高齢者向け住宅、
 ラヴィーレは旧SOMPOケアネクストの介護付きホームを示すブランド名

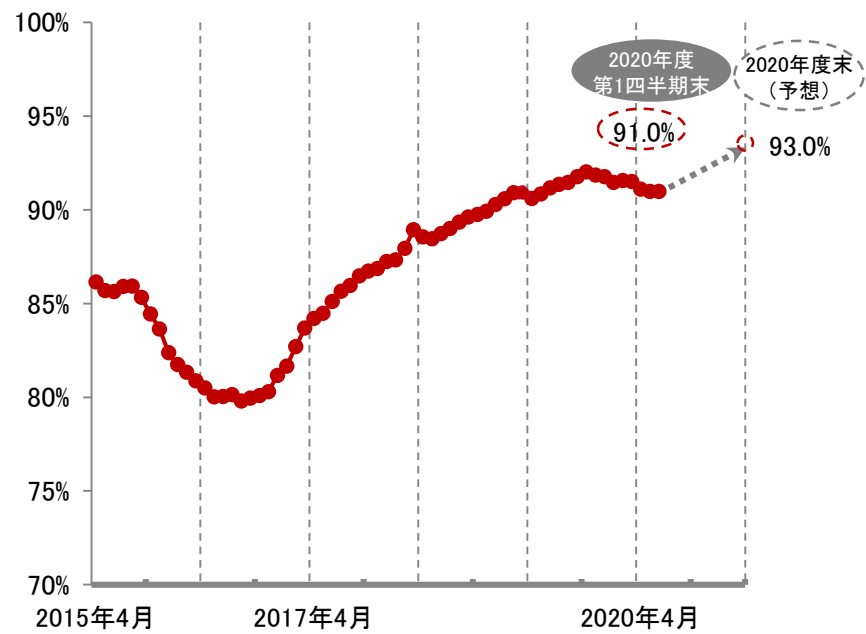
介護・ヘルスケア事業等※2の修正利益

(単位:億円)

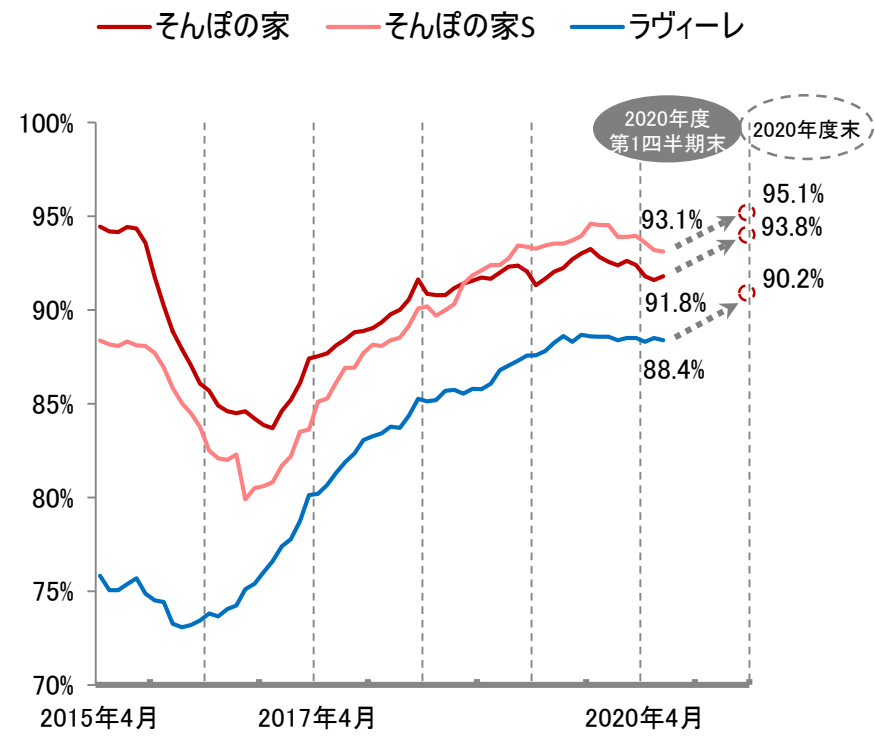


※2 介護・ヘルスケア事業等は、SOMPOケア、アセットマネジメントなどの合計

入居率※の推移



(参考)ブランド別入居率の推移



※ 旧SOMPOケア・旧SOMPOケアネクストの入居率を統合して記載

1. 連結業績

2. 国内損保事業

3. 海外保険事業

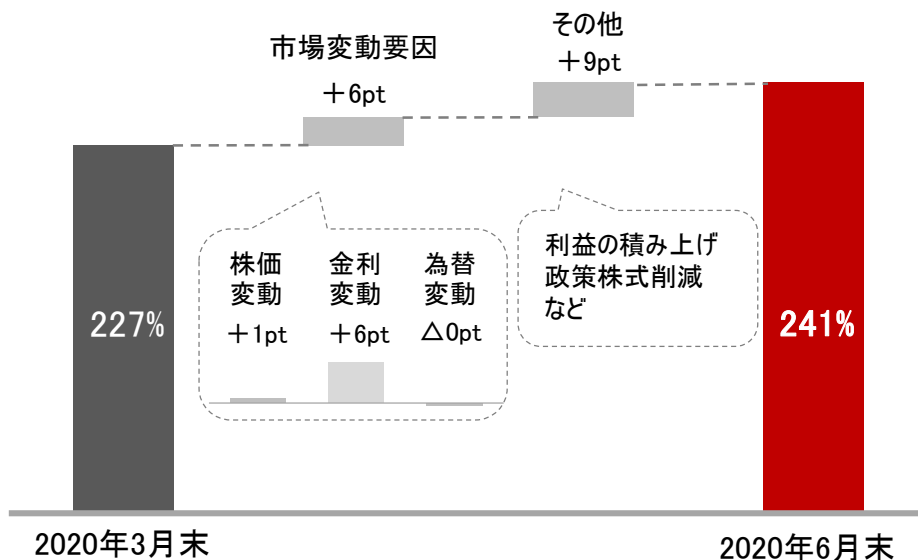
4. 国内生保事業

5. 介護・ヘルスケア事業等

6. ERM・資産運用

財務健全性: ESR(99.5%VaR)

◆ 2020年6月末のESR(99.5%VaR)は241%と、ターゲットレンジ内の資本水準を維持

ESR(99.5%VaR)^{※1}の推移

※1 ソルベンシー II に準拠した算出方法

ESR(99.5%VaR)におけるターゲット資本水準は、概ね180%~250%

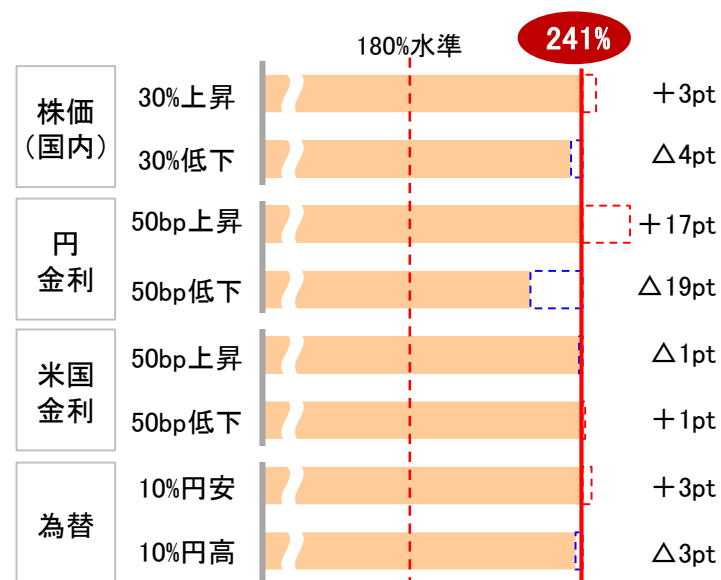
250%水準: 資本効率(ROE)の観点を踏まえた水準

180%水準: ストレステストの結果などを踏まえ、
財務健全性を安定的に確保可能な水準

恒常的にターゲットレンジ外の水準となる場合の代表的な対応

- 【250%超】 追加的リスクテイク(成長投資)の検討、自己株式取得等による株主還元拡充など
- 【180%未満】 各種リスク削減策の実施、ハイブリッド債等による資本増強の検討、内部留保強化など

ESR(99.5%VaR)の感応度分析



(参考)市場環境

	2020年6月末	(増減 ^{※2})
国内株価(日経平均株価)	22,288円	(+17.8%)
国内金利(30年物国債利回り)	0.60%	(+16bp)
米国金利	0.66%	(△1bp)
為替(米ドル円レート)	107.74円	(△1.0%)

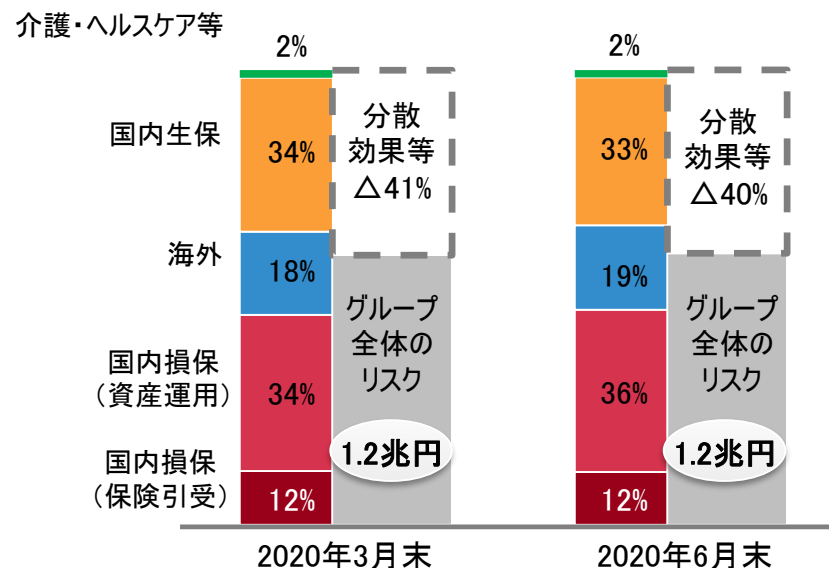
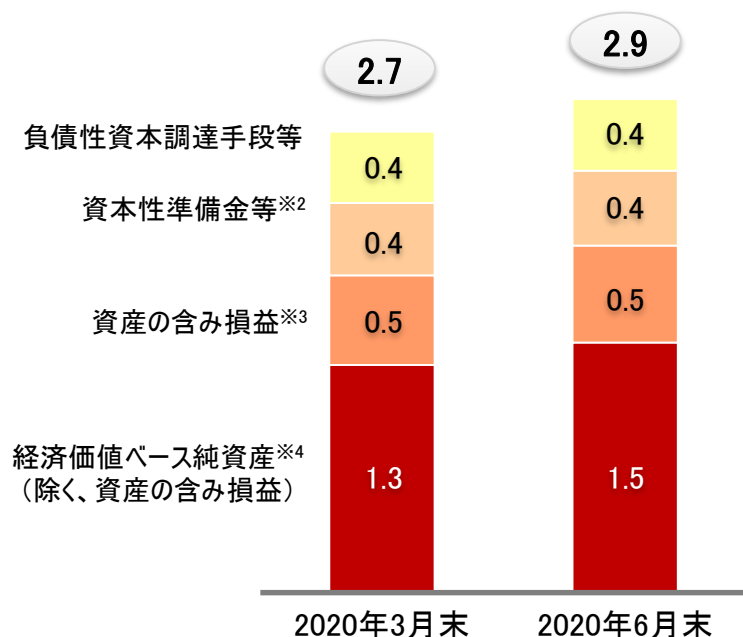
※2 2020年3月末対比

(参考)実質自己資本・リスク量のブレイクダウン

実質自己資本※1

リスク量※5

(兆円)



※1 実質自己資本＝単体BS純資産合計額＋保有契約価値－のれん等＋時価評価しない資産の含み損益＋資本性準備金等＋負債性資本調達手段等

※2 価格変動準備金、異常危険準備金など(税引後)

※3 時価評価しない資産を含めた有価証券等の含み損益

※4 単体BS純資産合計額に生損保の保有契約価値などを加算(のれんや非支配株主持分等は控除)

※5 リスク量は保有期間1年、99.5%VaRで計測

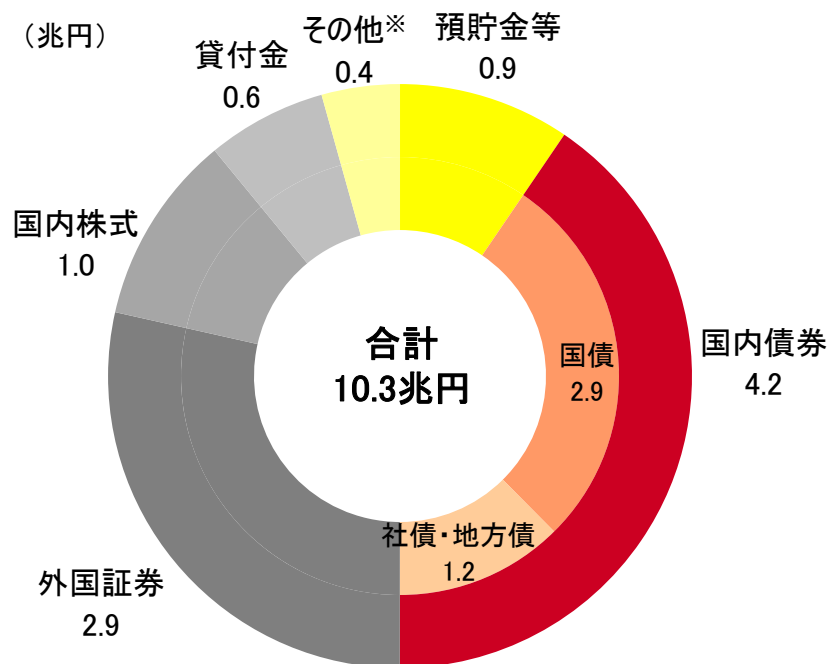
事業毎のリスク量: 事業間のリスク分散効果控除前(税引前)

グループ全体のリスク: 事業毎のリスク量合計－分散効果－税効果

資産ポートフォリオ(グループ連結ベース)

◆ 負債特性や流動性・安全性などを踏まえ、債券を中心とした安定的なポートフォリオを構築

運用資産額(2020年6月末 グループ連結ベース)



グループ会社別運用資産額

(単位: 億円)

	運用資産額	構成比
損保ジャパン	52,402	50.4%
海外グループ会社	14,423	13.9%
ひまわり生命(一般勘定)	34,903	33.6%
セゾン自動車火災	614	0.6%
国内その他	1,560	1.5%
合計	103,903	100%

※ “その他”は土地・建物、非連結子会社株式など

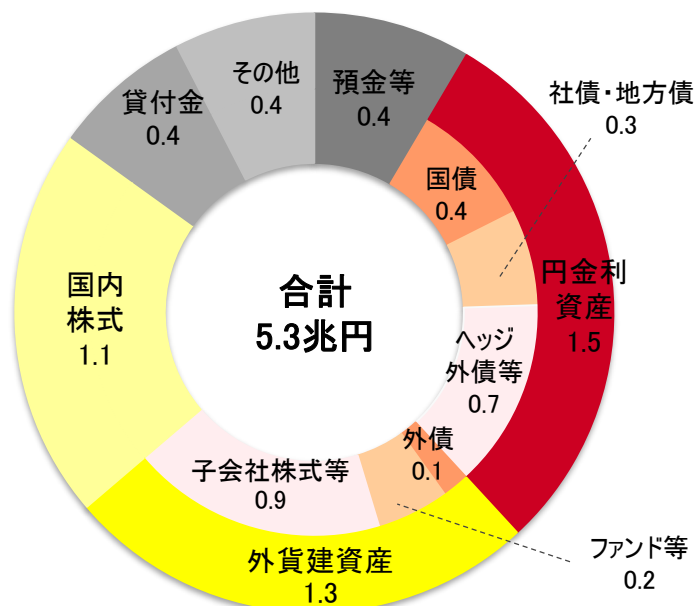
資産ポートフォリオ(損保ジャパン)

◆ 政策株式の削減、分散投資の推進を基本とするポートフォリオ・マネジメントを継続

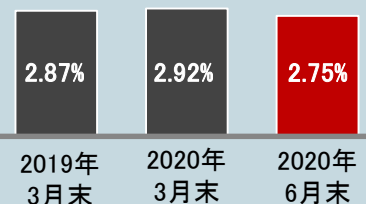
運用資産額(2020年6月末 損保ジャパン単体ベース)

【一般勘定】

(兆円)



インカム利回り(一般勘定)^{※1}の推移



格付別構成比^{※2}

格付	構成比
社内格付	
BBB格以上	100%
BB格以下	0%

デレション(年)

	2020年 3月末	2020年 6月末
資産	7.9	7.8
負債	8.4	8.4

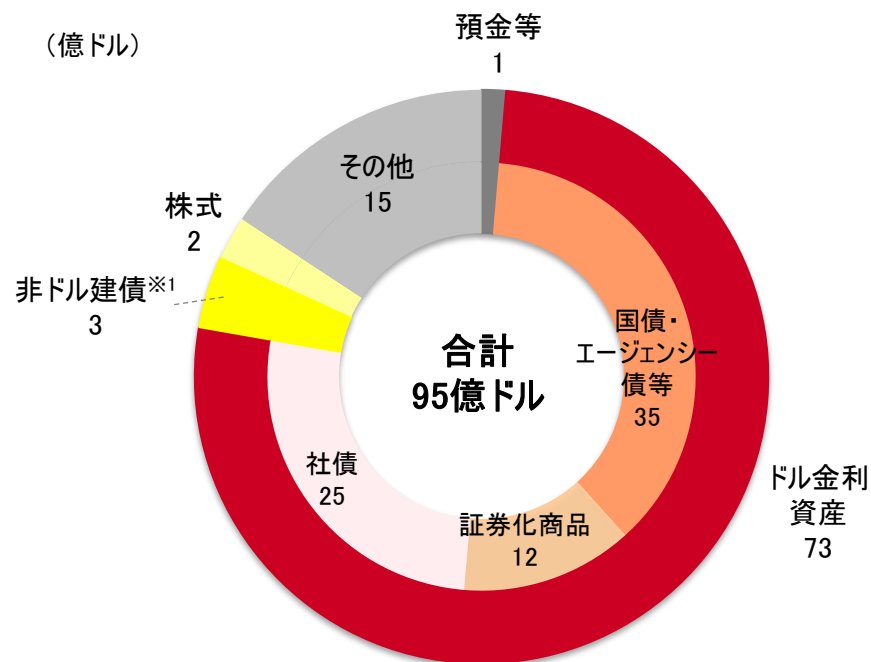
※1 海外グループ会社株式等を除く

※2 円金利資産、外貨建債券の合計

資産ポートフォリオ(SI)

◆ ドル金利資産への投資をベースとしつつ、負債特性を踏まえ、流動性・安全性を重視した運用を継続

運用資産額(2020年3月末 SI連結ベース)



格付別構成比※2

格付	構成比
BBB格以上	91%
BB格以下	9%

デュレーション(年)

	2019年 12月末	2020年 3月末
資産	3.0	2.8
負債	3.0	3.2

(参考)2020年3月末のインカム利回り(一部ファンドの未実現損益等の変動を含む)は2.92%

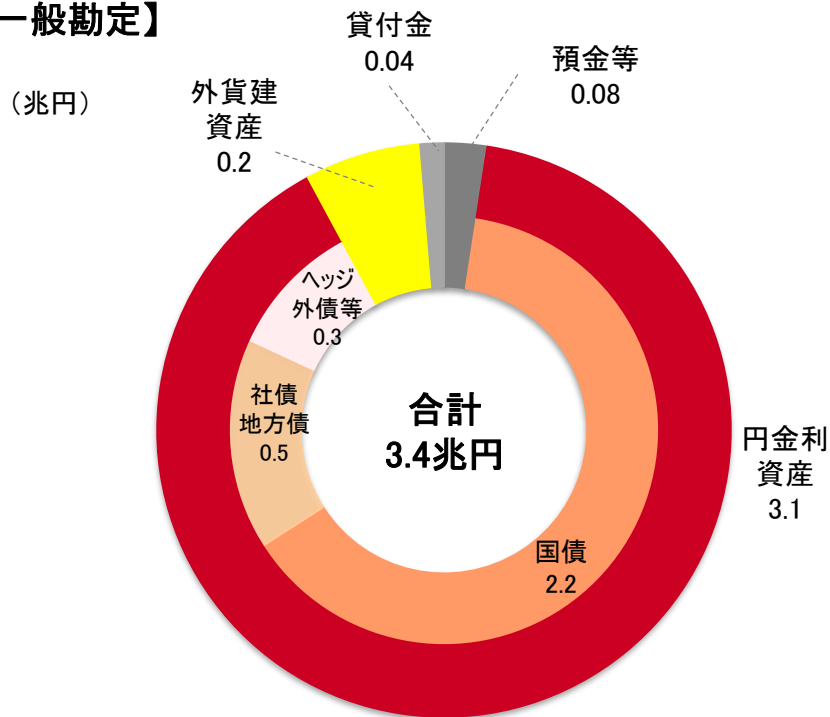
※1 一部預金含む
 ※2 債券資産の合計

資産ポートフォリオ(ひまわり生命)

- ◆ 円金利資産を中心としたALM重視のポートフォリオを構築
- ◆ 国内の低金利環境を踏まえ、社債投資等への配分を若干拡大

運用資産額(2020年6月末 ひまわり生命単体ベース)

【一般勘定】



インカム利回り(一般勘定)の推移



格付別構成比※

社内格付	構成比
BBB格以上	100%
BB格以下	-

デレーション(年)

	2020年 3月末	2020年 6月末
資産	14	14
負債	28	27

(参考)2020年6月末の特別勘定の残高:213億円(主に国内株式・債券で運用)

※ 円金利資産、外貨建債券の合計

将来予想に関する記述について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】



SOMPOホールディングス株式会社

IR室

電話番号 : 03-3349-3913

email : ir@sompo-hd.com

URL : <https://www.sompo-hd.com/>